

2021年8月4日  
日本エイサー株式会社

## 「GIGA スクール構想の端末と保護者の意識に関する調査」 パソコン支給率はすでに 76%、配布端末のトップは Chromebook ! 69%の保護者が「家庭にもう 1 台必要」と回答

日本エイサー株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ボブ・セン)は、株式会社小学館(東京都千代田区)の第一児童学習局が運営する育児メディア「HugKum」(はぐくむ/https://hugkum.sho.jp)と共同で、GIGA スクール構想の学校配布端末について、小学生の子どもを持つ保護者 1,096 人にアンケート調査を実施しました。Chromebook を含む端末全体の配布状況や、家庭への持ち帰り頻度、家庭での活用実態、保護者の悩み事やリアルな声など、GIGA スクール構想における小学生保護者の意識に関する最新の調査結果を発表します。



主な調査結果は以下の通りです。

- パソコン支給率は 7 割以上、支給された端末でもっとも多いのは Chromebook。支給はされたが何を使っているか把握していない保護者は 3 割
- 端末を家庭に持ち帰っているのは約半数
- 持ち帰ってきても「PC に詳しくないので教えられない」「自分が使っている PC と違った」という悩みがありつつも、子どものためにも使い方を学んでいく姿勢
- 「家庭用にもう 1 台パソコンが必要」と考える保護者が 69%、高価すぎないパソコンを望む声も
- Chromebook、学校配布端末のトップであるにも関わらず、半数以上の保護者が実は“あまり知らない”
- Chromebook を実際に家庭用に導入している人の多くが使いやすさを実感!

### 【調査概要】

- 調査期間 : 2021年7月7日(水)~7月14日(水)
- 調査対象 : 全国/小学生の子どもを持つ HugKum WEB 会員(男女)
- 有効回答数: 1,096 件

※調査結果の数値は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表章

GIGA スクール構想の本格化で、パソコンは子ども 1 人 1 台が当たり前の時代に。今回の調査から、“家庭でもう 1 台”からさらに“家族全員に 1 人 1 台”の必要性を感じている保護者の意見も見え始め、今後この意識はさらに高まっていくことが予想されます。

日本エイサーはこれまで、GIGA スクール構想の早期実現に向けて、Acer Chromebook を含むノート PC の導入を積極的に進めてまいりました。これからも生徒 1 人 1 台の ICT 端末を使った授業が実現される世界に向け、引き続きサポートを行ってまいります。

## HugKum

<https://hugkum.sho.jp/>

### HugKum 調査関連記事

“小学生保護者は必見！子どもの 1 人 1 台パソコン「Chromebook」、家族の世界が広がる使い方を公開”

<https://hugkum.sho.jp/special/258266>

### 「GIGA スクール構想」への保護者の認識調査結果

1 人 1 台の学習用パソコンの普及を掲げた GIGA スクール構想が本格化し、学校ではパソコンやタブレットを活用した学びが進み始めています。子どもたちの学びが大きく変わるいま、急速に進む ICT 教育について、保護者はどのくらい理解しているのでしょうか。さらに、GIGA スクール構想により家庭に持ち帰った Chromebook などの端末は、どのように活用されているのでしょうか。今回は、小学生の子どもを持つ保護者 1,096 人へのアンケート結果を、解説とともに紹介します。

#### ① パソコン支給率は 7 割以上、支給された端末でもっとも多いのは Chromebook。支給はされたが何を使っているか把握していない保護者は 3 割

調査時点(2021 年 7 月)の支給率は約 76%。すでに支給された人のうち、「子どもが学校から支給されている端末がどのようなものか知っている」と答えた人は 69.1%で、その内訳は、Chromebook(Chrome OS のパソコン)が 46.5%ともっとも多く、次いで iPad(32.8%)、Windows パソコン(20.7%)でした。一方で、「支給をされたことは知っているが、何を使っているかわからない」と回答した人が約 3 割(30.9%)もいることがわかりました。

#### お子さまは学校からパソコンやタブレットを支給されていますか？

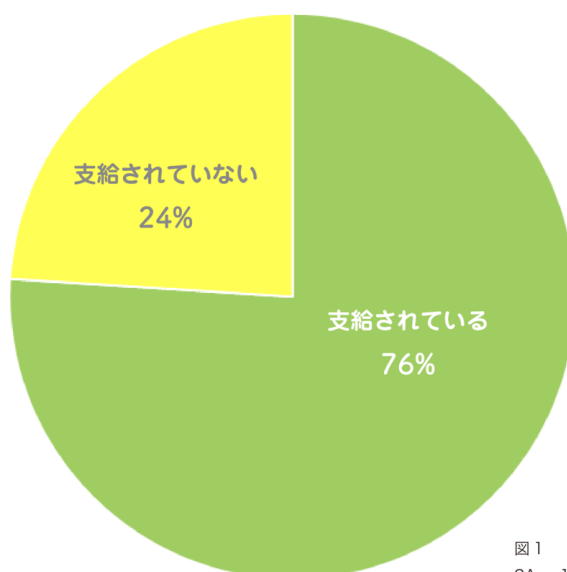


図 1  
SA,n=1096

## お子さまが学校から支給された端末がどんなものか知っていますか？

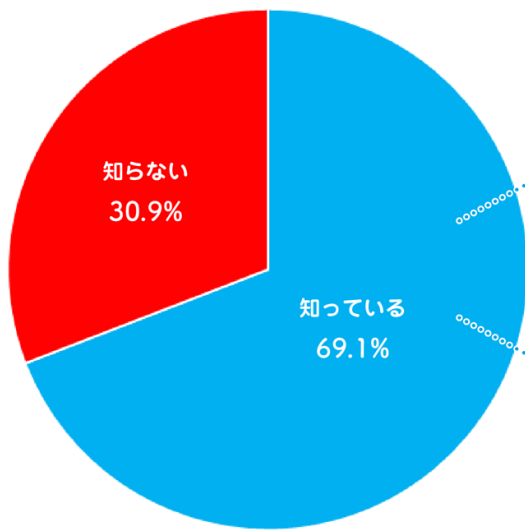


図2  
SA,n=833

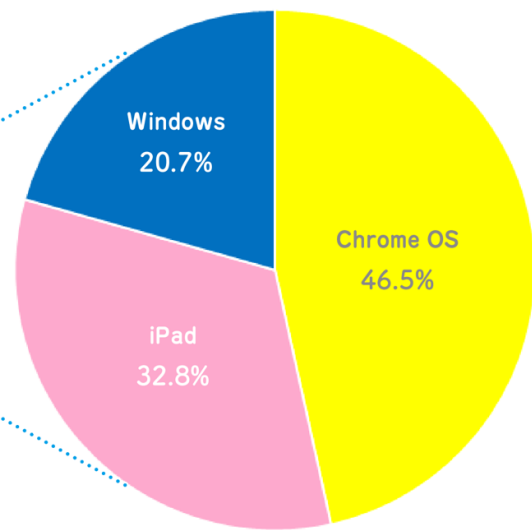


図3  
SA,n=576

## ② 端末を家庭に持ち帰っているのは約半数

端末が支給され、既に学校で使っている人のうち「支給された端末を自宅に毎日持ち帰る」(15%)と「ときどき持ち帰る」(31.7%)と回答した人が合わせて46.7%と、半数近くの家庭で子どもが端末を持ち帰ってきていることがわかりました。一方で、学校のみでの使用で、自宅には持ち帰っていない家庭も半数いるという結果でした。

## 学校から支給された端末を自宅へ持ち帰っていますか？

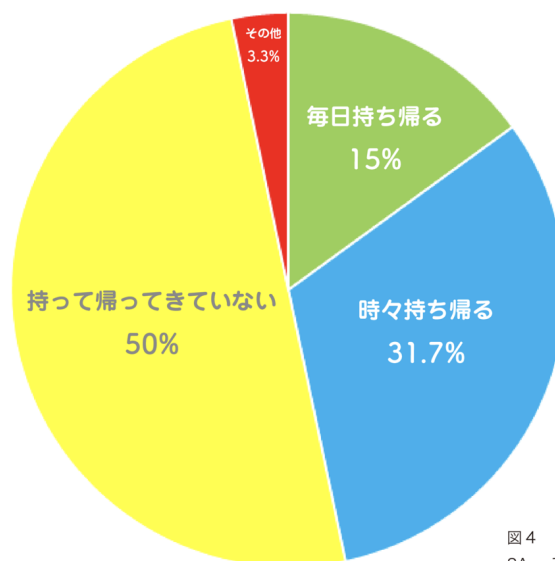


図4  
SA,n=761

③ 持ち帰ってきても「PCに詳しくないので教えられない」「自分が使っているPCと違った」という悩みがありつつも、子どものためにも使い方を学んでいく姿勢

子どもが端末を持ち帰ってきていると回答した人に、ママ・パパが困ったことや悩んでいることについて質問すると、「日常生活でPCを使っているのである程度教えられる」という回答がもっとも多い結果となりました。また「子どもが端末を使う時間や使い方を親子でルールを設けたい」という回答も多く、端末の持ち帰りがパソコンとの付き合い方について親子で考える機会になっていることがわかります。一方で、「自分がPCに詳しくないので教えられない」「自分が使っているPCと違ったため、子どもの宿題を手伝えない」という悩みも多く、「子どものためにも、子どもと一緒に使い方を学んでいこうと思う」というママ・パパも多いことがわかりました。(図5の青枠参照)

お子さまが学校から支給されたパソコンを持ち帰ってきて、保護者の方がこれまでに困ったこと、今現在困っていること、悩んでいることであてはまるものを全て選んでください。

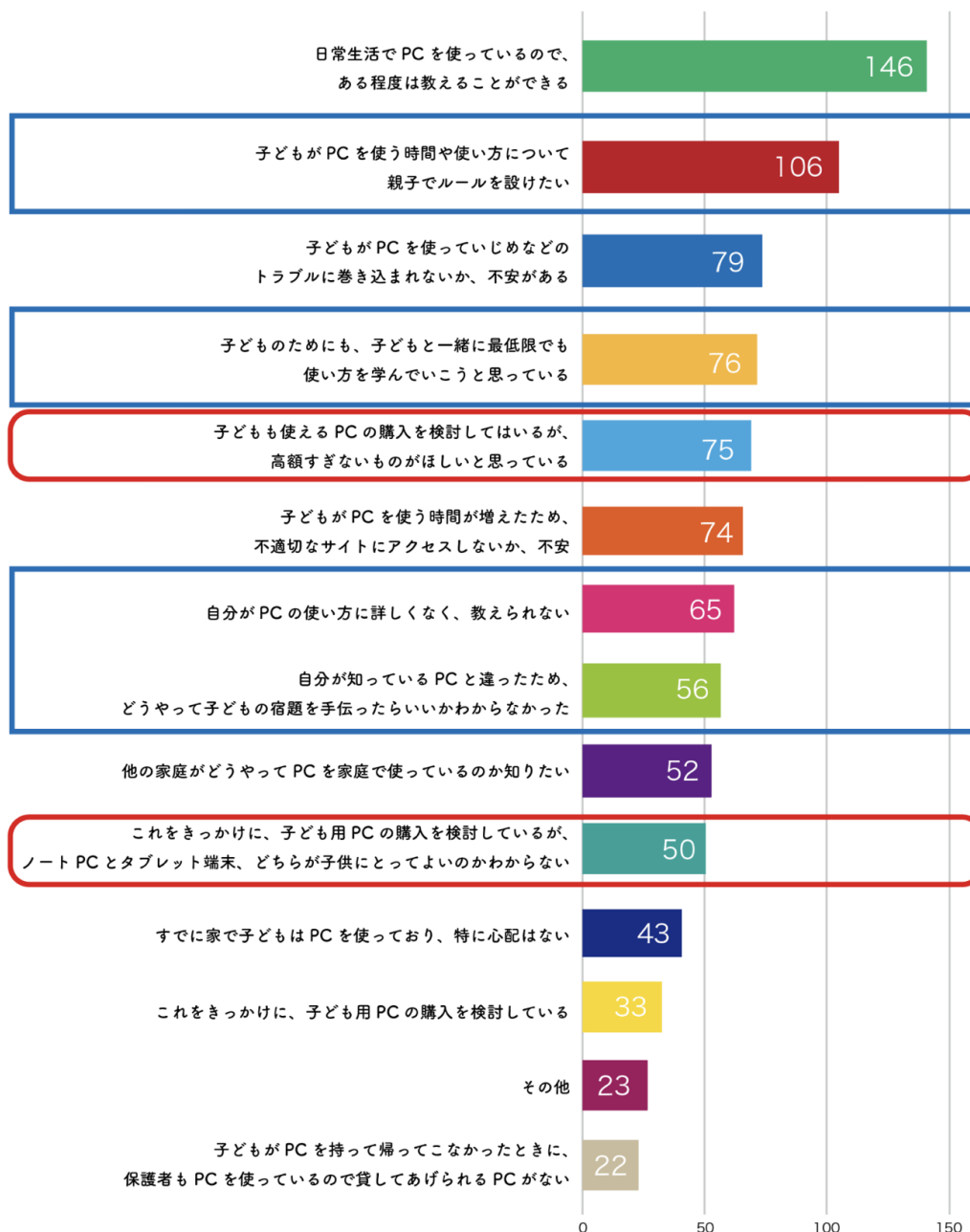


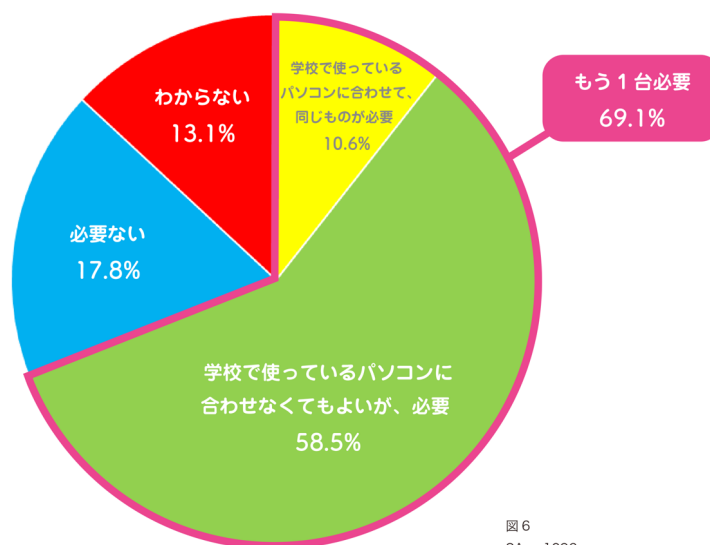
図5  
SA,n=335

#### ④ 「家庭用にももう1台パソコンが必要」と考える保護者が69%、高価すぎないパソコンを望む声も

子どものGIGAスクール構想の端末が配布されたことで、「家庭にもう1台パソコンが必要」と考える保護者は、なんと69.1%もいました。その理由としては「子どもがPCを持ち帰ってこなかったときに、保護者もPCを使っているので貸してあげられるPCがない」「学校の端末は制限が多すぎて、家庭学習用として活用できない」という回答が多く、これをきっかけにパソコンの購入を検討している人が多いことがわかりました。

実際の購入にあたっては「学校で使っているパソコンと同じものが欲しい」と考えている人は10.6%で、他には「ノートPCとタブレット端末どちらが子どもにとってよいかわからない」と悩む人や、「購入を検討しているが、高価すぎないものがほしい」という意見も目立ちました。(図5の赤枠参照)

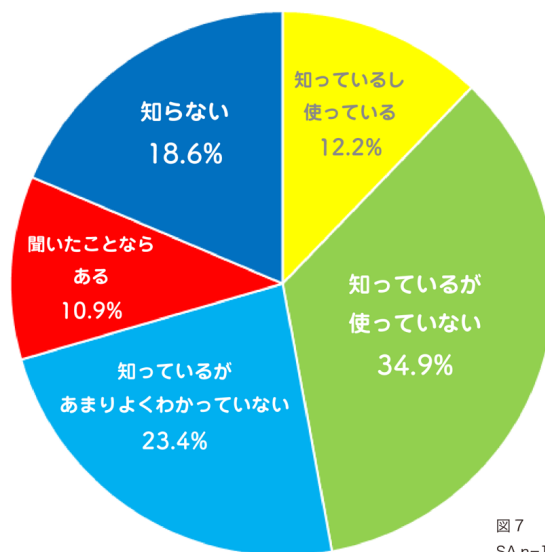
お子さまが学校のパソコンを使うようになって、  
家庭にももう1台パソコンが必要だと思いますか？



#### ⑤ Chromebook、学校配布端末のトップであるにも関わらず、半数以上の保護者が実は“あまり知らない”

今回のアンケートでGIGAスクール構想の端末でもっとも多く配布されているChrome OSを搭載したパソコンのChromebookを知っているかについて聞いたところ「知っているが、あまり良くわかっていない」(23.4%)、「聞いたことならある」(10.9%)、「知らない」(18.6%)、と合わせて半数以上(52.9%)の人が、実はまだChromebookについて良くわかっていないことが浮き彫りになりました。

## Chromebook / クロームブックを知っていますか？



### ⑥ Chromebook を実際に家庭用に導入している人の多くが使いやすさを実感！

学校で配布されている端末のトップである Chromebook を実際に導入している家庭ではどんなふうを活用しているか、また Chromebook を使ってみて良かった点について質問した回答はこちら。

#### 【家庭での Chromebook 活用例】

「Google Meet で友達と話したり、スクラッチでプログラミングを楽しんでいる」

「親子それぞれのアカウントを登録し、共用中。子どもは教育版マイクラフトやグーグルアース、調べ物に活用している」

「すでに家庭用に一台あるが、兄弟でオンライン学習など使用時間が重なるので、もう一台必要だと感じている」

#### 【Chromebook を使ってみて良かった点】

「Chromebook は子ども用アカウントの登録ができ、利用時間やアプリ、フィルターが保護者アカウントでコントロールできるので安心して使える」

「値段が手頃で、Chrome ブラウザをメインに使う子どもには使いやすく買ってよかった」

「タブレットの良いところとパソコンの良いところを兼ね備えているので、親も気軽に使えて便利」

「子どもは学校で Chromebook の使い方を習っているのので、自宅で親が教えなくても使いこなしていて驚いた」

これらの回答から、Chromebook の満足度は高く、家庭用にもう 1 台 Chromebook を採用した人はメリットが大きいと感じていることが明らかになりました。

#### プレスリリースページ

<https://acerjapan.com/news/2021/03A010>

#### Acer Chromebook 公式サイト

<https://acerjapan.com/notebook/chromebook/>

## Acer について

1976年の創業以来、Acerはハードウェア+ソフトウェア+サービスカンパニーとして、人々の生活を豊かにする革新的な製品の研究、デザイン、マーケティングおよび販売とサポートを怠りません。パソコン、ディスプレイ、プロジェクター、サーバー(国内未発表)、タブレット、スマートフォン、ウェアラブル(国内未発表)に至る幅広いレンジの製品を提供するとともに、IoT (Internet of Things) に向けたクラウドソリューションの開発も推進しています。Acerは現在、全世界で約7,000人の従業員を数え、160以上の国と地域で展開しています。

詳細は [www.acer-group.com](http://www.acer-group.com) (英語版)をご覧ください。

## 日本エイサー株式会社について

社名 : 日本エイサー株式会社

所在地: 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビルディング 18F

代表者: 代表取締役社長 詹 國良(ボブ・セン)

公式サイト: <https://acerjapan.com>

公式 facebook: <https://www.facebook.com/AcerJapan>

公式 Twitter : <https://www.twitter.com/AcerJapan>

Gaming 公式 Twitter: <https://twitter.com/PredatorJPN>

公式 Instagram: [https://www.instagram.com/acer\\_japan/](https://www.instagram.com/acer_japan/)

公式 YouTube: <https://www.youtube.com/user/AcerJapanChannel>

© 2021 Acer Inc. All rights reserved. Acer と Acer ロゴは Acer Inc. の登録商標です。その他商標、登録商標、サービスマーク等の著作物の著作権は、帰属表明の有無に関わらず、それぞれの権利者に帰属します。発表内容は予告なしに変更または削除されることがありますのであらかじめご了承ください。

© 2021 Acer Inc. All rights reserved. Acer and the Acer logo are registered trademarks of Acer Inc. Other trademarks, registered trademarks, and/or service marks, indicated or otherwise, are the property of their respective owners. All offers subject to change without notice or obligation and may not be available through all sales channels.